

平成26年度 公共事業事後評価調書

(区分) **国補**・県単

1. 事業説明シート(1)

事業名 中山間地域総合整備事業(国補)		事業箇所 大月市猿橋町・富浜町・梁川町		地区名 大月東部		事業主体 山梨県	
(1)事業着手年度 H11年度		(2)事業期間 H11年度~H21年度		(3)完了後経過年数 5年		(4)総事業費 2,159百万円	
(5)事業着手時点の課題・背景				(8)事業位置図等			
<p>本地区は大月市の東部に位置し、猿橋町、富浜町、梁川町を事業実施区域とし、一級河川桂川をはさんだ両側の傾斜地に農地が点在している地域である。</p> <p>農業生産基盤整備の遅れから、用排水路や農道等の農業施設の老朽化が著しく、農業の効率性や労力の軽減などの大きな障害となっており、改善が求められていた。さらに、周囲の山林から侵入する有害獣の被害も深刻で、営農意欲の高い農家が多い地区でありながら、安定的な農業経営に不利な環境となっていた。</p> <p>このため主に農業用排水施設や農道、鳥獣害防止施設の整備などの農業生産基盤を中心に複数の整備を総合的に行い、営農意欲の維持を図り、地域の活性化を図る目的で事業を実施した。</p>				<p>省略</p>			
(6)事業着手時点で想定した整備目標・効果							
<p>(事前評価未実施)</p> <p><input type="checkbox"/> 主要目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 中山間地域等の農村生活・生産機能の向上 <p><input type="checkbox"/> 副次目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業用排水能力の向上 鳥獣被害の軽減 <p><input type="checkbox"/> 副次効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 農地の保全 							
(7)整備内容(目標達成の方法)							
<p>揚水機場 2箇所 用排水路 (8路線) L= 2,288m 農道 (10路線) L= 5,311m 農業集落道 (1箇所) L= 207m 集落防災安全施設 27基 鳥獣害防止施設 (8箇所) L= 21.8km</p>							

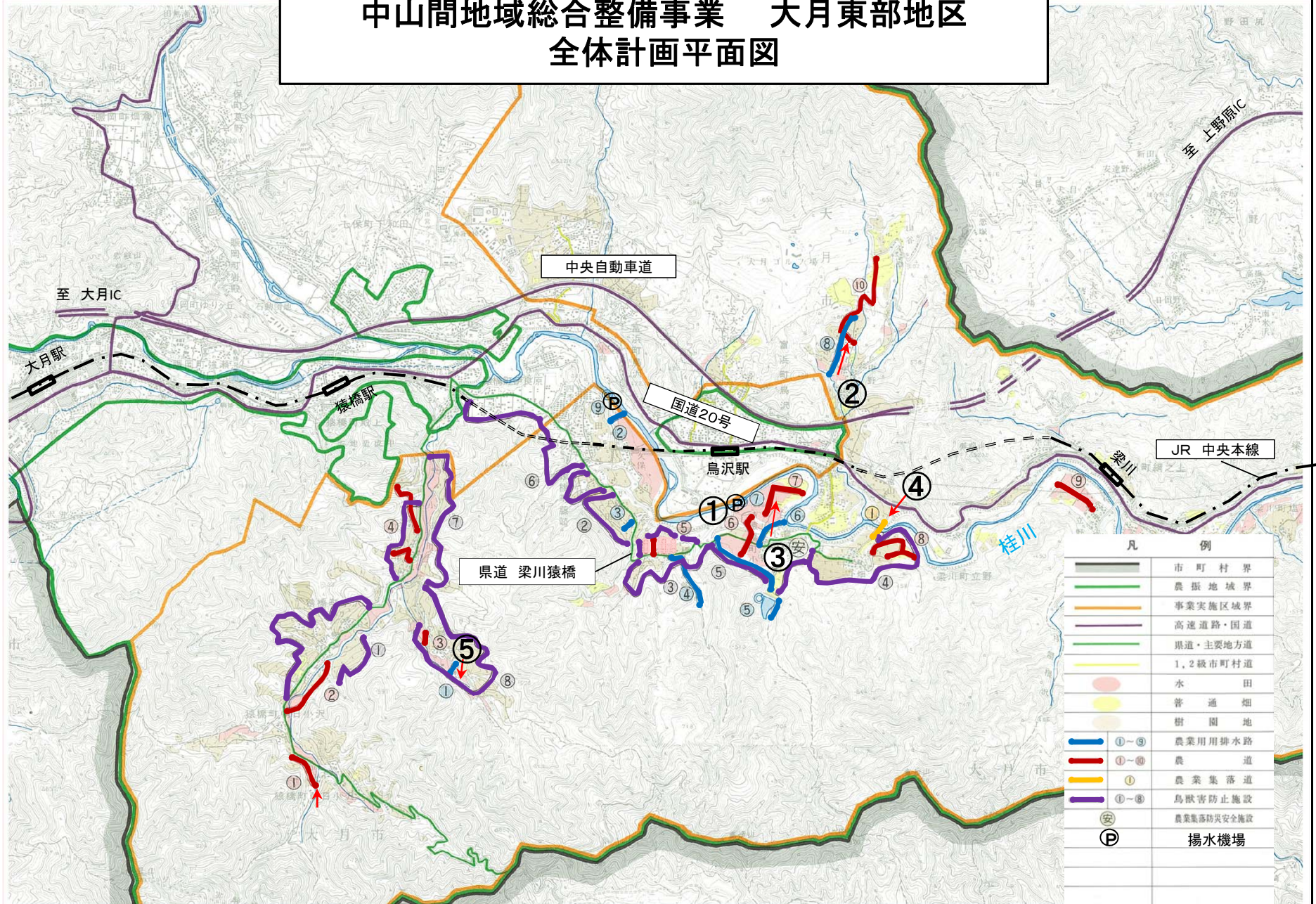
2. 評価シート(1)

<p>(1)事業貢献度 < <input checked="" type="radio"/> 良 > 不良 ></p> <p>(理由) 農道、用排水路が整備された事により、農産物の品質向上や運搬時間が短縮されるとともに取水施設の管理が容易となったため、労力の軽減となり農業経営の改善が図られた。</p> <p>①主要目標 中山間地域等の農村生活・生産機能の向上</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>着手時点数値等</th> <th>評価時点数値等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農業所得の増加額</td> <td>1,203千円/ha→設定せず</td> <td>1,224千円/ha</td> </tr> <tr> <td>生活環境施設受益者数</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>農村公園受益者数</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>交流施設利用者数</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="checkbox"/> 評価時点の数値に対する評価 ・農業所得の増加額が、評価基準値1, 203千円/haを上回っている。</p> <p>②副次目標 農業用排水能力の向上 鳥獣被害の軽減</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>指 標</th> <th>着手時点数値等</th> <th>評価時点数値等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>用排水能力向上率</td> <td>1.00→設定せず</td> <td>1.58</td> </tr> <tr> <td>年想定被害軽減額</td> <td>245千円/ha/年→設定せず</td> <td>262千円/ha/年</td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="checkbox"/> 評価時点の数値に対する評価 ・用排水路の整備により、用排水能力向上率が 1.58となり、評価基準値1.0以上を満たしている。 ・計画防護面積当たり年想定平均被害額軽減額が、評価基準値245千円/ha/年を上回っている。</p> <p>③副次効果</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農地の保全</td> <td>降雨時による水路の溢水により、表土の流出が発生していたが、排水機能が改善された事や、鳥獣害防止柵の整備21.8kmを行う事により農地48haが保全されている。</td> </tr> </tbody> </table> <p>④その他の事業効果の発現状況 鳥獣害防止施設の設置により、民家近くに出没していた獣(イノシシ等)も姿を現さなくなり、安心できる生活環境が整えられた。</p>	指 標	着手時点数値等	評価時点数値等	農業所得の増加額	1,203千円/ha→設定せず	1,224千円/ha	生活環境施設受益者数	-	-	農村公園受益者数	-	-	交流施設利用者数	-	-	指 標	着手時点数値等	評価時点数値等	用排水能力向上率	1.00→設定せず	1.58	年想定被害軽減額	245千円/ha/年→設定せず	262千円/ha/年	項 目	内 容	農地の保全	降雨時による水路の溢水により、表土の流出が発生していたが、排水機能が改善された事や、鳥獣害防止柵の整備21.8kmを行う事により農地48haが保全されている。	<p>(2)費用対効果分析の算定基礎となった要因等の変化 < <input checked="" type="radio"/> 有 > 無 ></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>着手時点の計画</th> <th>事後評価時点の実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総事業費</td> <td>1, 800百万円</td> <td>2, 159百万円</td> </tr> <tr> <td>工 期</td> <td>H11~H17</td> <td>H11~H21</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>1, 233百万円</td> </tr> <tr> <td>便益</td> <td>1, 277百万円</td> </tr> <tr> <td>B/C</td> <td>1.04</td> </tr> </tbody> </table> <p>※経済効果は、生産基盤整備を対象に算出している ※ 平成16年度再評価地区 総事業費2, 075百万円、工期H11~H20に見直し (要因変化の分析) ・総事業費：農道工の土留擁壁工の増、及び路線の見直し、また、鳥獣害防止施設の実施箇所追加に伴い事業費が増となった。 ・工 期：一部用地交渉が難航したため、4年間の工期延長となった。 ・便 益：鳥獣害防止施設の追加により便益が増となった。</p> <p>(3)事業実施による環境の変化 < <input checked="" type="radio"/> 有 > 無 ></p> <p>①自然環境への影響 ・基盤整備を進めたことで耕作放棄地の発生防止につながったため、地域の良好な農村景観が保たれている。</p> <p>②生活・居住環境等への影響 ・集落道整備により、緊急車両の通行が可能となったことから、緊急時の地域による共助の意識向上につながった。</p> <p>③環境保全対策の効果の発現状況(措置を講じた場合) ・なし</p> <p>(4)社会経済情勢の変化が事業に及ぼした影響 < 有 > <input checked="" type="radio"/> 無 ></p> <p>①社会経済状況の変化 ・なし</p> <p>②関連計画・関連事業の状況の変化 ・なし</p> <p>③事業環境等の変化 ・なし</p>	項 目	着手時点の計画	事後評価時点の実績	総事業費	1, 800百万円	2, 159百万円	工 期	H11~H17	H11~H21	経済効率性	費用	1, 233百万円	便益	1, 277百万円	B/C	1.04
指 標	着手時点数値等	評価時点数値等																																											
農業所得の増加額	1,203千円/ha→設定せず	1,224千円/ha																																											
生活環境施設受益者数	-	-																																											
農村公園受益者数	-	-																																											
交流施設利用者数	-	-																																											
指 標	着手時点数値等	評価時点数値等																																											
用排水能力向上率	1.00→設定せず	1.58																																											
年想定被害軽減額	245千円/ha/年→設定せず	262千円/ha/年																																											
項 目	内 容																																												
農地の保全	降雨時による水路の溢水により、表土の流出が発生していたが、排水機能が改善された事や、鳥獣害防止柵の整備21.8kmを行う事により農地48haが保全されている。																																												
項 目	着手時点の計画	事後評価時点の実績																																											
総事業費	1, 800百万円	2, 159百万円																																											
工 期	H11~H17	H11~H21																																											
経済効率性	費用	1, 233百万円																																											
	便益	1, 277百万円																																											
	B/C	1.04																																											

評価シート(2)

<p>(5) 今後の事後評価の必要性 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>	<p>(7) 同種事業の計画・調査のあり方の見直しの必要性 〈 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 〉</p>
<p>(理由) ・ 今回の事後評価において、増加所得額等の十分な効果が発現されているため、今後の事後評価は必要ないと思われる。</p> <p>□「有」の場合の実施時期及び方法 ・ 時期： 年度 ・ 方法：</p>	<p>(理由) ・ なし</p> <p>(具体的反映策) ・ なし</p>
<p>(6) 本事業における改善措置の必要性 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>	<p>(8) 事業評価手法の見直しの必要性 〈 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 〉</p>
<p>(理由) ・ なし</p> <p>(具体的反映策) ・ なし</p> <p>(既に実施した改善策の内容と効果) ・ なし</p>	<p>(理由) ・ なし</p> <p>(具体的反映策) ・ なし</p> <p>(9) その他特筆すべき事項 〈 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 〉 ・ なし</p>

中山間地域総合整備事業 大月東部地区 全体計画平面図



①



老朽化が著しい揚水機場の改修により安定的な取水が可能となった。

① 農業用排水施

②



【水路周辺の農地】

水路の改修により、安定した用水供給及び排水が可能となった。

② 農道

③



農道改良とともに、用排水路を改修することで、大幅な農作業効率のUPを図った。

③農業集落道



橋梁幅が2.0mしかなく、橋の版も亀裂が入っており、大型車両の通行が困難な状態となっていた。

④



農業集落道の設置により、通行時間が大幅に短縮されると共に、緊急車両等の大型車両も容易に通行出来る様になった。

④鳥獣害防止施設

⑤



イノシシによる被害状況



鳥獣害防止柵の施工により、シカやイノシシからの被害が軽減された。